

PRA JAPANESE CLUB

PRA 日本人倶楽部会報

NEWSLETTER

http://pra.jpn.ph/ • Telefax. (63-2) 897-5660 • E-mail: prajclub@mozcom.com
G/F 1037 Teresa Street, Rizal Village, Makati City, Philippines

第38号

2012年8月20日発行

第11回総会

会則の一部改正

- ・ 賛助会員に議決権付与
- ・ 月50ペソの値上げ



去る7月14日、PRA日本人倶楽部の第11回総会がマカティ市バサイロードにあるレストラン「活活」で開催された。冒頭、小川副会長から正会員（賛助会員を含む）42名の出席の他委任状を提出された会員38名を加えると全会員（129名）の半数を優に超すことから、第11回総会が定例を満たすものであることが報告された。その後はプログラムに基づき、会長の挨拶、来賓挨拶（副理事長）アチェンザPRA長官のメッセージ（西藤会員が朗読）が紹介された。家田会長による議長の下、議案の審議が始まった。第1号議案、2011年度の事業報告と決算報告、第2号議案、2012年度の事業計画と同予算、第3号議案、会則の一部改訂（会費を50ペソ/月値上げ）は若干の質問と要請があったが、原案通り可決された。第4号議案、役員の変更にあたっては今期任期切れとなる理事全員（家田、小川、高橋、小野（敬）、荒川、加村、堀井、楠田、小野（孝）と野口監事が再選された。その後改選された理事と残留理事（門田、河越）及び野口監事を含めた12年度第1回の理事会が招集され、別室で会長の互選が無記名で行われた。選挙の結果、家田前会長が再々選され総会の席でその旨が発表され正式に家田会長の継続が承認された。

（家田会長は総会の冒頭挨拶の中で会長の任期が大幅に満了していることから辞意を申し出たが、理事全員の留任を受けて続投を受け入れた）

総会員数 155名
議決権を有する会員数 129名
総会出席数 42名
委任状数 38名



会長挨拶

この度、第11回定期総会を開催するに当たり、本日も足労頂きました会員各位に対し厚く御礼申し上げます。また、副都領事には後程ご挨拶を頂きますが、公務が多忙にも拘らずご臨席賜り心から感謝申し上げます。

早いもので、当倶楽部の会長職を引き受けてからもう3期8年が経ってしまいました。所期の目標でありました会員倍増目標には及ばず、皆さんのご期待に沿えず大へん遺憾に思っております。この間、力不足の小職を黙々と補佐して頑張って頂きました理事の皆さんには本当にお礼の言葉もありません。

皆様には不満足でしょうが、お蔭様で何とか今日までPRA日本人倶楽部を無難に運営することが出来、自分なりに満足しております。それにも増して弊会が企画したプログラムに参加して頂きました会員各位に暖かいご支援に厚く御礼申し上げます。これで心置きなく次期会長にバトンを手渡すことが出来る環境が整いました。重ね重ね皆さんのご協力とご支援に感謝致します。ありがとうございます。

さて、PRA本部では本年から積極的に“スマイル”プランを採用し、新規加入の会員から正規の預託金(\$20,000)の他に年間維持費として\$360を徴収し始めました。明らかに我々の入会時には無かったものであり、若し、旧会員も同プランへの変更を強要されるとすれば負担増に繋がり、素直に賛成する訳にも参りませんが、一方PRAが存続して行くためには必要不可欠な経費源として許容せざるを得ない事情も配慮せねばなりません。問題は旧会員が“スマイル”プランへ移行するに当たっての所謂、調整金の始末ですが、未だ最終的な解決策が提示されておらず、各会員毎に違った方法で算出されております。例えば、投資目的で預託金を全部又は一部引き出した会員は引き出した時点の換算レートでその金額の

0.5%をVisitorial Feeなる名目で継続して徴収されることとなります。但し、年間維持費の\$360は免除されることになっており、結果的には割安になることとなります。問題は預託金が\$20,000に引き下げられた折、差額\$30,000の還元を受けた会員は、年間1.5%(\$450)をVisitorial Feeとして納入を強要されており、その不公平な扱いが問題となっております。(但し、年間維持費の支払は免除される)

何れにせよ、この問題の解決には厄介な計算式と明解な説明が必要であり、“スマイル”プランが軌道に乗り資金的な余裕が出来るまでは未解決のまま据え置かれる可能性と思われれます。その間、調整金を値上げにして\$360の年間維持費を払うか、\$450/年のVisitorial Feeを払い続けるかの選択を各自の判断に任されているのが現状であります。

PRA日本人倶楽部では、会員各位の為にもこの問題を風化させないように注視して参る積りでおります。

PRA日本人倶楽部では、出来るだけ多くの情報を会員各位と共有して参りたいと願っております。是非とも、毎月開催されております懇親会(きらく会)や機会がある度に開催されております講演会に参加して頂き、ご自身では得られない情報を得て、安全で安心できる環境の構築に役立てて頂ければ幸甚であります。当会の更なる発展とその成果は必ず皆さんに還元されるものであります。引き続き会員各位のご支援とご協力をお願いして総会の挨拶とさせていただきます。

PRA日本人倶楽部
会長 家田 昌彦

2012年度の抱負—会長

家田 昌彦

先般開催されました総会の冒頭で会長職退任の挨拶させて頂きましたが同日総会のプログラムの中で開催されました今期の再選理事と留任理事による互選で再々度会長に推挙され、総会でそのまま承認される結果と相成りました。大へん名誉なことであり光榮に存じますが、PRA日本人倶楽部の更なる発展と活性化のためには思い切った執行部の入れ替えが必須だと思考されます。そのためにもう一年かけて次期体制を構築する準備に入らせて頂くことを前提にこの度の会長再々就任をお受けした次第です。何卒、引き続きご支援くださいますよう伏してお願い申し上げます。

さて、本年度の事業計画に関しましては、第2号議案の中でも提案させて頂きましたが、当国に於いて安全で且つ安心して退職者生活を享受できる環境を維持するために、弊会が得た情報や各会員レベルで入手した情報を共有して参りたいと考えております。その手段として不定期となっておりますニュースレターを復活させ定期的に情報を発信する他、大使館情報をEメールを使ってその都度会員各位に転送したいと思っております。また、懇親会（きらく会）や講演会を通じて直接会員間の情報交換を促進させたいと思っておりますので、弊会が企画致します会合には是非ご参加ください。一方、PRA本部が主催致します行事（Web Siteに掲載される）にも積極的に参加頂き、日頃から本部との接点を作られておくことは将来ご自身のために役立つものと思われまふ。要するに、ご自身の安全と安心はご自身で確保する努力が必要であるということであり、その為少しでも弊会がお役に立てれば幸いであります。

PRA日本人倶楽部が少しでも前進するよう、もう一年微力ながら会長を勤めさせて頂きます。どうぞよくご協力ください。

会則改正箇所

第4条 会員の種別は次の通りとし、入会の可否は理事会で決定する。

1. 正会員 本会の目的に賛同する退職者プログラム加入者
2. 賛助会員 正会員2人を紹介者とする本会の目的に賛同する者
3. 名誉会員 理事会の決議をもって推薦された者

なお、会員の同居家族（親、配偶者、子供）は準会員とし、本会のサービスを受用できる。

会費の納入額などは細則で定める。

第10条 理事及び監事は総会に於いて正会員及び賛助会員の中から選任されるものとする。但し、賛助会員から選任される理事は全理事の1/3以内とする。

会長は、正会員理事の中から全理事の互選で選ばれる。

副会長は、会長が任免する。

第25条 総会は、正会員、賛助会員及び名誉会員をもって構成し、各1票の議決権を有する。

会則施行細則

第2章 会員

第2条 会則第4条による会員の会費は次の通りとする。但し、新規入会者は、入会年度に限り、入会月から年度末までの月額（250ペソ）の合計額を年会費として納入するものとする。また、会員の種別を問わず、年会費とは別に入会金を納入するものとする。

会費：正会員・賛助会員とも＝月額250ペソ
（年間3,000ペソ）

名誉会員＝無料

入会金＝1,200ペソ



残念！小雨がポツリで お帰りになられた人が抜けました

「第3回南ルソンの集い」に会員と家族、友人ら70人 マッキリン山麓でBBQパーティー



今年で第3回を迎えた南ルソン支部主催の「南ルソンの集い」は、3月31日にカランバ市のアヤラ・グリーンフィールドで恒例の“バーベキューパーティー”を開催しました。

顔馴染みの方たち、初めてお会いになる方々、子供たち、それに各ご家庭のメードさんやドライバイーも一緒になって準備を始めました。そして、濱田支部長に続いて家田会長から挨拶をいただいてパーティーはスタート。今回は大使館から遠藤領事班長ご夫妻、さらに本部から高藤副会長・楠田理事ご夫妻の参加も得ました。その方々や参加者からの差し入れを含めて数多くの材料が寄せられ、盛り沢山のメニューのパーティーとなりました。

大人のお腹が満たされる間もなく、15人程の子供たちは用意した遊具で遊び始めました。その中で“スイカ割り”は大人も一緒になって楽しみました。会員さん同士、友人の方たちとの会話も弾み、あっという間に過ぎた楽しい一日でした。

心残りを振り払うように、参加者全員で後片付けを始めました。今回のパーティーの準備は、支部役員（濱田支部長・堀井さん・門田さん・中山ご夫妻）だけではなく一般会員の落合さん・片岡さん、非会員の山本さんのお力も借りて進めました。準備から後片付けまで参加者全員が力を出し合ったパーティーでした。「PRA 日本人倶楽部」のあるべき姿の一つを見たように感じました。これからも続けていかねば、の思いを皆さんが持たれたことと思います。ここに参加者の皆さんにお礼を申し上げるとともに、次回の「集い」の輪が広がることを祈ります。（小川）

第67回終戦記念日 カリラヤ慰霊祭



去る8月15日ラグナ州カビンティ町のカリラヤ慰霊園で、在比日本大使館の主催で恒例の戦没者慰霊祭が挙行された。あいにく、厚い雲に覆われいつ雨が降り出してもいいような状況であったが、幸い式典の間は降雨はなかった。

ト部敏直在比日本国全権大使ほか、マニラ日本人会木村会長ら在留邦人団体の代表ら約200名が列席、柴田勝俊領事班長の司会で式典は厳かな雰囲気の中で進められた。アキノ大統領からのメッセージも読み上げられ、戦乱の歴史を直視しながらも戦後の日本とフィリピンの友好関係が反日感情を和らげたことに触れ、両国の更なる友好関係が進展することを期待するとの内容であった。弊会からも家田会長はじめ、小川副会長、浜田南ルソン支部長、楠田、門田、河越理事ら18名の会員が参加した。（家田）





優勝:河越(忠) 準優勝:山本 3位:野呂 さん

2012.4.12
オーチャード プレーヤー

ゴルフ同好会よりのお知らせ

PRA日本人倶楽部会長杯(家田杯)争奪戦は2010年7月(第94回大会)～12年6月(第117回大会)までの2年間(豪雨中止98回105回、記念大会112回)で総延参加者518名(月平均23名)の同好会会員が会長杯獲得に向け腕前を競い合った。栄えの会長杯はトータル102点獲得された堀井満重氏へ第11回総会の席で家田会長より授与された。

授与選定方法は、大会に参加された得点(4点)が基本で+優勝から5位入賞まで(5～1点)で一番多くの得点を2年間で獲得された人にPRA日本人倶楽部会長杯が授与される。

獲得者堀井氏談

同好会の連絡係をさせて頂いている関係上参加点を多く積み重ねました。第116回で2位の岡さん(97点獲得)に1点差まで詰め寄られました但最终月第117回大会の2位入賞で私の方に女神が微笑みました。2年前の初戦では坂下氏に最終月で逆転され無念の涙を吞みました

が是非にも獲得したかった会長杯を受け取り感無量です。これから趣味のゴルフ一筋に磨きを懸け次期の会長杯も獲得したいと願っています。

上位点数獲得者

- 1位 堀井満重 氏 (102点) 21回参加
- 2位 岡敏勝 氏 (97点) 21回参加
- 3位 今井博幸 氏 (83点) 19回参加
- 4位 岸川遼 氏 (82点) 20回参加
- 河越忠信 氏 (82点) 17回参加
- 6位 斉藤勝春 氏 (80点) 18回参加
- 神谷博幸 氏 (80点) 17回参加
- 8位 小野博善 氏 (76点) 18回参加
- 9位 坂下雄三 氏 (69点) 16回参加
- 10位 荒川泰介 氏 (64点) 15回参加
- 落合正彦 氏 (64点) 16回参加
- 総計 48名の参加者(ゲスト含む) (堀井)



事務局より

会員IDの作成について

皆さん経験されたと思いますが、フィリピンでは航空機の搭乗時、または官公庁等にて身分証明書の提示を、求められることがあります。身分証明書には住所氏名、生年月日、本人のサイン、有効期限、発行者のサイン及び発行番号が求められます。

PRA日本人倶楽部では、総会に参加された皆さんは写真がありますが、総会に参加出来なかった会員の方は写真と必要事項を記載の上事務局にお送り下さい。Eメールでも結構です。詳しいことは事務局に電話ください。(担当:小野)

29/F Citibank Tower, 8741 Paseo de Roxas, Makati City 1200, Philippines
SWS Hotline No.: +632 750 0007 Fax No.: +632 848 7106
E-mail address: inquiry@pra.gov.ph



退職後の生活を
フィリピンで。

念願だったリタイア後のドリームを
フィリピンで実現させませんか!

SRR Visa
Special Resident Retiree's Visa

一生涯のビザを。

退職生活、もっと楽しい
Philippines

詳細は www.pra.gov.ph まで。

1974年創業・マニラ随一の信用を誇る!!

フレンドシップツアーズ



日本国大使館認定
査証申請代理機関
安心サービスの旅行会社

- フィリピン手作りの旅、手配致します
- 格安航空券予約・販売(チケット配達サービス)
- 国内・海外旅行他各種パッケージツアー
- ホテル予約・ロングステイ特設
- 査証ビザ申請代行
- 永住・退職者ビザ取得代行
- 空港送迎・観光レンタカー・ガイド手配
- ダイビング・フィッシング等のマリンスポーツ手配
- ゴルフプレイ予約・案内
- 通訳・翻訳
- ボランティア活動支援



(マニラ・オフィス)
3F Dusit Thani Manila,
Ayala Center, Makati City, M.M.
TEL: (63-2) 894-1124 / 840-1060 / 893-0291
Fax: (63-2) 818-8978 / 892-8899
石倉・二村・池田・岩崎
時間外連絡先: 0918-914-5523, 0928-506-8102
国内営業所: マニラ・セブ・ダバオ

【営業時間】 午前8時30分～午後6時
日曜・祭日: 休業 土曜: 午後1時まで

(セブ・オフィス)
Bldg. I, Oakridge I.T. Center,
500 A.S. Fortuna St., Basilisk, Mandaue City
Tel: (082) 545-3450, 344-4025 Fax: (082) 344-4754
時間外連絡先: 0917-524-0173 (久保田)
Davao City: 8017-807-8131

URL: <http://www.friendshipmanila.com>
E-mail: info@friendshipmanila.com

www.manila-shimbun.com



お試しください
マニラ新聞
3日間テスト配達
いたします。

更に新聞宅配 +
ホームページの
併読 キャンペーン実施中!

日刊



The Daily MANILA
SHIMBUN
SPACE 1092

本紙に匹敵する充実した量と
質のニュースをお届けする、
マニラ新聞ホームページ。

6か月以上、マニラ新聞をご購読の方でホーム
ページをお申込み頂いた方は、ホームペー
ジ購読料金が半額(1ヶ月500ペソ、6ヶ月
間のセット購読)になります。

お問い合わせはジャパンデスクへ
Japan Desk (02) 897-3732 まで。

2012年度理事会組織図

